

反映状況票

(単位:百万円)

府省名	調査事業名	調査主体	取りまとめ財務局	4年度予算額	5年度予算案	増▲減額	反映額
農林水産省	(23) 水産資源調査・評価推進事業	本省	—	5,704	5,450	▲254	▲31
事業の概要	我が国周辺水域の主要魚種及び公海等で漁獲される国際漁業資源について、調査・評価等を実施する。また、海洋環境の変動等による水産資源への影響を調査し、資源変動メカニズム及び中・長期的な資源動向の究明や不漁要因の解明に取り組むとともに、漁場形成及び漁獲状況等をリアルタイムに把握する。						

調査結果の概要及び今後の改善点・検討の方向性

1. 資源評価の進捗状況及び目標設定

水産庁は、資源評価対象魚種系群ごとに、資源評価の長期的な目標を調査実施機関と共有すべき。

また、水産庁は、国立研究開発法人水産研究・教育機構（以下「水研機構」という。）に対して、資源評価に係る中・長期的な計画・目標や当該目標達成のために必要なデータ収集の取組を明確化するために、調査計画を見直すよう、検討させるべき。

2. 資源調査の進捗状況

水産庁は、資源調査・評価の進捗状況を把握・分析するとともに、必要に応じて、資源評価対象魚種系群の見直し（優先順位化）・関係機関の役割分担・リソースの配分等について、検討すべき。

3. 資源調査に係る経費

<調査船調査>

【周年用船】

水産庁は、調査船調査に係る周年用船契約について、一般競争入札等競争性のある契約形態への移行を含め、契約の在り方を検討すべき。

【都度用船】

水産庁は、調査船調査に係る都度用船契約について、水研機構に対し、一者応札に係る改善方法を検討させるべき。

<漁船活用型調査>

水産庁は、謝金の支払基準について、関係機関に対して、透明性を確保する対応策を検討させるべき。

反映の内容等

1. 資源評価の進捗状況及び目標設定

水産庁は、資源評価対象魚種系群ごとに、当面の目標とする資源評価の段階を調査実施機関に示した。

また、水産庁は、水研機構に対して、上記目標を踏まえて調査計画を見直し、令和5年度調査から反映するよう指示した。

2. 資源調査の進捗状況

水産庁は、令和4年度中に、資源評価の進捗状況について詳細な調査を行った。また、引き続きフォローアップを行っていく。

資源評価対象魚種系群の見直し（優先順位化）については、資源評価関連会議において、必要性を含め検討する予定である。

関係機関の役割分担・リソース配分に関しては、関係機関がより主体的に資源評価を行えるよう事業実施体制を見直す予定である。

3. 資源調査に係る経費

<調査船調査>

周年用船及び都度用船契約について、競争性のある契約形態への移行や一者応札に係る改善策を水研機構で検討しており、水産庁では、令和5年度仕様書に契約方法の競争性確保を要件として記載することとしている。

(反映額：▲31百万円)

<漁船活用型調査>

水産庁は、水研機構に対して、漁船活用型調査時における謝金の支払い基準の透明性を確保するよう指示した。